

F S X 楽しく遊ぼうシリーズ 26

# Milford Sound Airport

N Z M F

V 1 . 0 0



2010. 9

L F A 飛想会

# 目 次

目次	1
みなさん こんにちは	2
Milford Sound Airport 制作のきっかけ	4
Milford Sound Airport 位置	6
Milford Sound Airport NZMF	7
インストール	12
Milford Sound Airport 制作後記	18
おわりに	32

# みなさん こんにちは

FSX Milford Sound Airport V1.00 をダウンロードしていただき、まことに有難うございます。  
これは Microsoft Flight Simulator FSX のシーナリーです。

楽しく遊ぼうシリーズのテーマは、

皆さまといっしょに もっと自由に楽しく遊ぼう です。

## ご利用上のご注意

### その1

このシーナリーは観賞用ではありません。

皆さまは愛機に搭乗し Milford Sound Airport を利用して大空を自由にフライトして遊んで下さい。

### その2

このシーナリーは この解説書で説明するインストール方法の実施、指定するメッシュのダウンロードとインストール を必ず守ってください。

説明するインストール方法と指定メッシュ利用を確実に実行しなかった場合、シーナリーは正しく表示されません。

### その3

この解説書で説明するインストール方法等を理解できない方や自信のない方は、問題が解決するまでご利用をお止めください。

### その4

このシーナリーはFSX専用で、SDKのSP2で制作してあります。

FSX SP2、または ACCELERATION のご利用が必要になります。

FSX SP1では一部シーナリーが正しく表示されません。

### その5

このシーナリーは Windows 7 64bit DX10 でも利用できます。

## その6

このシーナリーはメッシュの解像度範囲（M） 1～2mでご利用ください。  
推奨値は以下の設定です。

**Mesh Resolution (M) = 1m**

## その7

シーナリーについて、設定方法や表現が不自然でおかしな部分もあるかもしれませんが、すべてLFA飛想会の好みで選択し採用しています。

勿論バグもあるかもしれませんが、皆さまからのご意見・ご指摘等にはありがたく頂戴し、更なる改良と発展をさせるつもりです。

しかし、サポートと同様に批判・苦情等の受付けは致しません。

「このシーナリー くだらないよ」とお考えの皆さまは、その瞬間削除して下さい。

## その8

Milford Sound Airport を使用したことにより、飛行不能、墜落、パイロットのケガなど、そのために発生するいかなる損害に対し、LFA飛想会は一切の責任を負いません。

**自己の責任**において安全運行に心がけ、ご利用お楽しみ下さい。

# Milford Sound Airport

## 制作のきっかけ

世界各地に離着陸が難しい危険で楽しい空港があります。

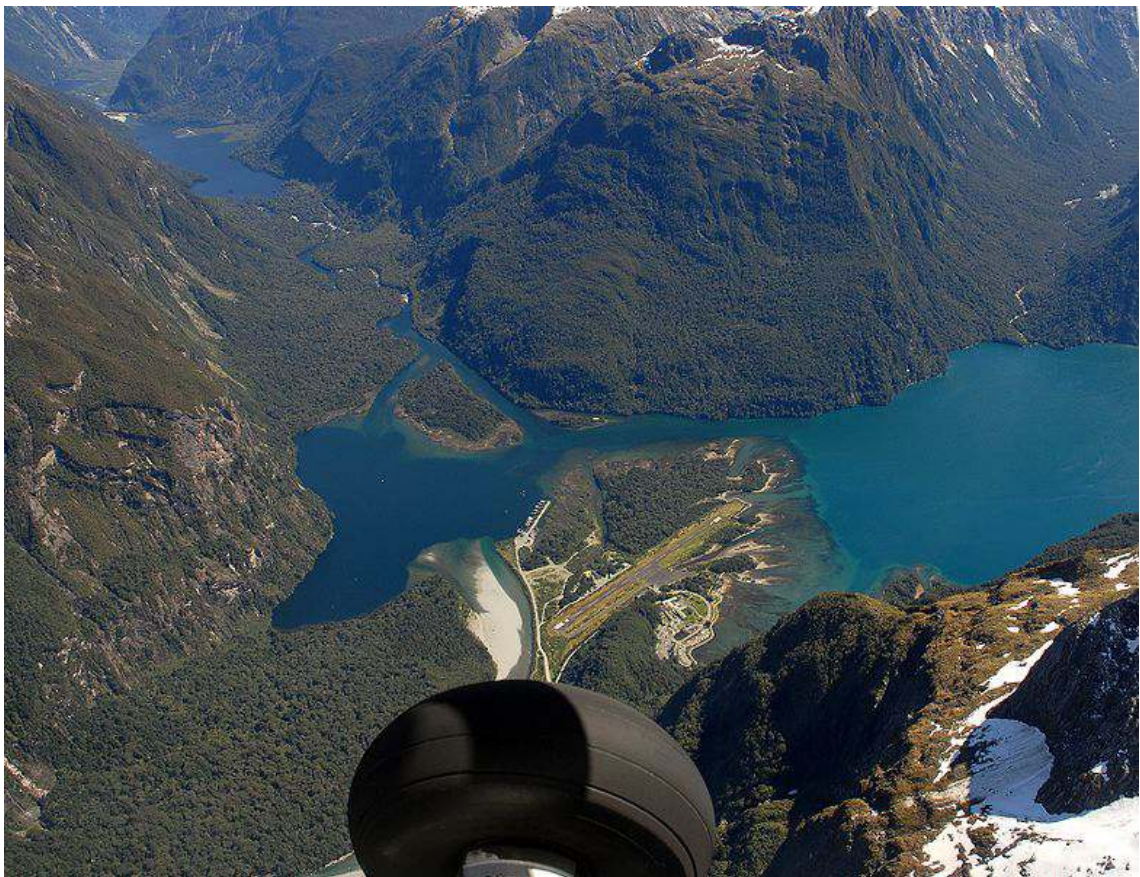
それらの場所はインターネットでも紹介され、飛想会シーナリー制作選定の貴重な情報源として役立っています。

しかし、そのリストに含まれてない空港があったのです。

知人からぜひ訪ねてみたい観光地があります、とメールを頂きました。

北半球の観光地はかなり旅したそうですが、南半球はまだ一度も訪ねたことがないので、まず手始めに行きたい場所は、世界自然遺産にも登録されている有名なニュージーランドの南島にあるミルフォードサウンドだそうです。

数枚の参考写真も添付されていました。



これが添付されていた写真で、HPからコピーしました

**あれっ？ 離着陸が難しい危険で楽しい空港では？**

前頁の写真を見た瞬間に捜し求めている空港の１つだと直感したのです。

直ちに調べてみました。

断崖絶壁に囲まれた絶景のフィヨルド水面近くにあるパブリックな素晴らしい空港です。

ところがFSXデフォルトの空港や周辺の景観、かなり問題があり異様な風景です。

水面近くにあるはずの空港が、なんと断崖絶壁の上に移動しています。

近くに不思議な丘？（山？）も出現しています。

ニュージーランドのみならず、世界的にも知られている有名な観光地です。

（知人から教えていただくまでは知りませんでしたけどね）

ニュージーランドのFS愛好者ならマウントクックと同様に、必ずコレクションの１つに加えてフライトしたい空港でしょう。

勿論、日本人である私も同様です。

ということで、私の好きな条件がそろっているので制作することにしました。

その条件とは、離着陸が難しい危険な空港、風光明媚な場所にある空港、制作が難しそうで個性的な建物がある空港、そして自由に楽しく遊べる空港です。

今回の制作のきっかけは、知人から送られてきたメールから本能的に次の制作地はここだ！と直感したことです。

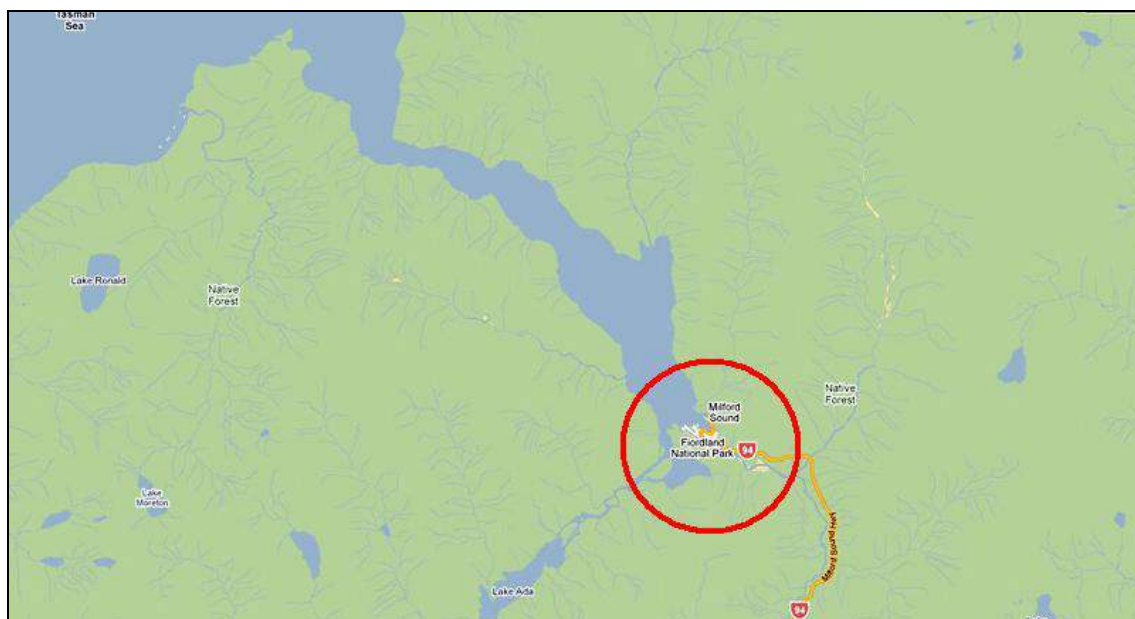


## Milford Sound Airport 位置

ミルフォードサウンド空港はニュージーランドの南島、フィヨルドランド国立公園にあります。ユネスコの世界自然遺産に登録されている場所です。



空港はタスマン海から約15 km内陸に入ったフィヨルド内にあり、周囲は1200 m以上の断崖絶壁に囲まれています。毎日多数の観光客が自然の美しさを求めて世界各地から訪れています。



Google Map からコピーしました

## Milford Sound Airport NZMF



北西方向から見た空港と周辺の風景です

場所	ニュージーランド ミルフォードサウンド
標高	10.0 ft (約 3.0 m)
フィールド標点	S 44° 40.4000 E 167° 55.4000
ランウェイ	11 / 29 アスファルト舗装 2,598 × 52 ft (約 792 × 16 m)

- 備考
- 標高 10.0ft は公開されている資料の中から飛想会が採用した数値です。
  - 滑走路の位置と配置角度は飛想会の判断で制作しています。
  - エプロン、ヘリポートの駐機方法、種類と番号は飛想会の設定です。
  - 滑走路標識等は飛想会の設定です。
  - 解説書に登場する AI 飛行機は撮影用で、シーナリーに含まれていません。
  - 解説書の風景はニュージーランドのランドクラスを利用しています。





北方向から見た空港です



南東方向からみた空港です  
遠く山の間にタスマン海が見えます





南西方向からみた空港です  
手前から栈橋、空港、ロッジ、遊覧船乗り場があります



フレッシュ・ウォーター入り江に面して遊覧船乗り場とマイターピーク・ロッジがあります  
ロッジ建物はFSX Default Scenery Object を利用しています





エプロンに FSS (flight information service) のタワー、格納庫があります

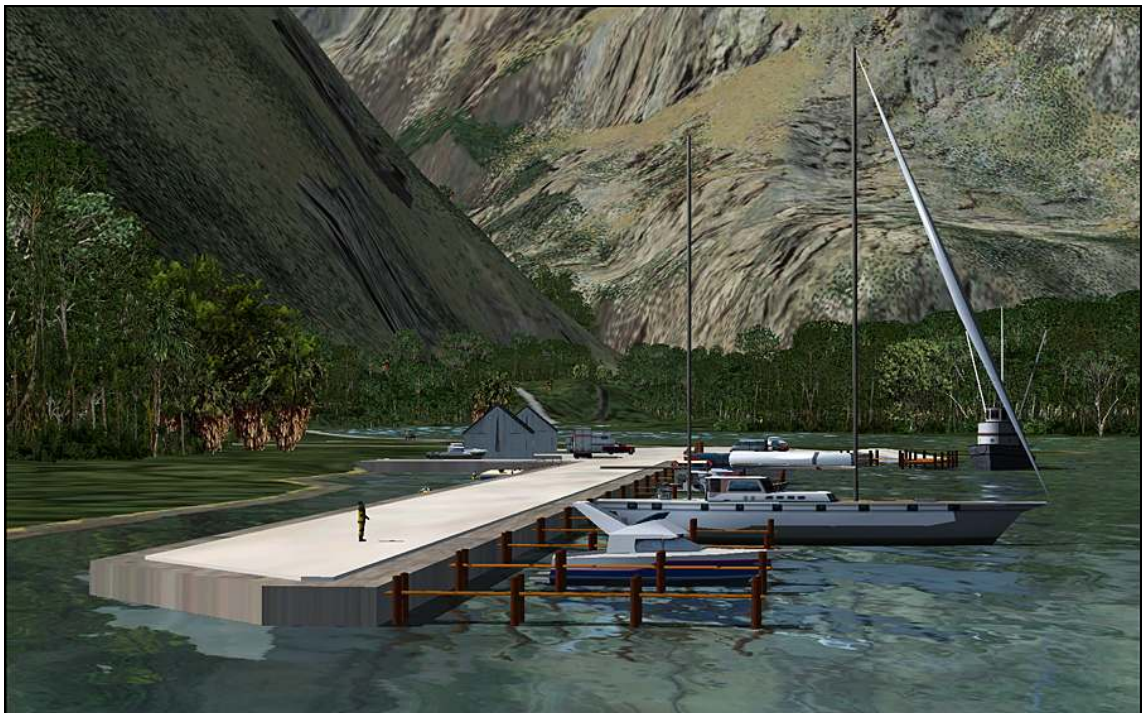


反対側から見たエプロンです





フレッシュ・ウォーター入り江の遊覧船乗り場です



ディープ・ウォーター入り江の棧橋です

## インストール

圧縮ファイルを解凍して開くと以下のものがあります。

FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100

Set92470.exe

FSX Milford Sound V100.pdf

NZMF-Simple Installation Guide.pdf



このシーナリーをご利用される場合、以下の **2つのインストールとセットが必要** になりますので、説明に従い必ず実行してください。

**I** FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100

**II** Set92470.exe

このシーナリーをご利用される場合、以下の **指定するメッシュが必要** になりますので、必ずダウンロードしインストールしてください。

公開場所	FlightSim.Com <a href="http://www.flightsim.com/">http://www.flightsim.com/</a>
ファイル名	FSX Scenery - New Zealand Terrain Mesh nzfsx.zip
作者	J.Harris
容量	約 33MB

Flightsim.Com から作品をダウンロードする場合、会員であることが必要です。

未入会の方はこの機会に無料会員として登録してください。

入会はホームページの説明に従い、ご自身で行ってください。



## FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 インストール

これが飛想会制作のミルフォードサウンド空港シーナリーです。

- ① FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 を FSX の Addon Scenery 内にコピーして貼り付けます。
- ② FSX を起動し初期画面から設定を選択します。
- ③ シーナリーライブラリーを選択します。
- ④ エリアの追加を選択します。
- ⑤ FSX の Addon Scenery を開き FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 を選択します。
- ⑥ シーナリーエリアのタイトルに FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 が表示されたら OK をクリックします。

これでインストールが完了です。

### Windows 7 の場合

Windows 7 にインストールする場合、上記の方法ではインストールできない場合があります。飛想会は以下の方法を採用していますが、この方法はマイクロソフト社が FSX で解説している方法と異なりますので、自己責任で実施してください。

- ①～⑥ 上記の方法と同じです。
- ⑦ OK をクリックすると FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 が開き、scenery と texture が表示されます。
- ⑧ マウスの 戻る ボタンを押します。
- ⑨ 表示画面が元に戻り FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 が登録されています。

マウスに戻るボタンがない皆さまの環境には対応していませんのでご了承ください。

Windows 7 にインストールできないことに対するご質問等は、直接マイクロソフト社にお問い合わせください。

## Set92470.exe について

FSX デフォルトで設定されている Milford Sound Airport の標高は 846ft で、これは明らかに間違いです。

この間違った標高を基準にメッシュや水面（川・池）の高度情報が設定されています。

Set92470 ソフトは、FSX デフォルトの間違った空港の標高を 10ft に変更します。

この作業は **FSX デフォルトのデータ APX92470.bgl を書き換え** ます。

APX92470.bgl には 2 つの空港が定義されていますので、単純に削除するともう 1 つの空港が利用できなくなります。

そこで書き換えて変更する作業が必要になるのです。

皆さんから、このソフトを利用せず、書き換えが終わった APX92470.bgl をシーナリーに添付すれば簡単でしょうというご意見も生まれると思います。

しかし APX92470.bgl は FSX ソフトの一部で、著作権はマイクロソフト社にあります。

たとえ誤りの訂正だとしても勝手に変更し公開すると、問題発生の恐れがあります。

そこで将来起こりうる問題を回避するため、「くろねこ」さん制作の Set92470 ソフトが必要になるのです。

このソフトには APX92470.bgl のデータは一切含まれていません。

ソフトを実行すると、FSX 内の APX92470.bgl を検索しソフト内部にデータをコピーすると共に、FSX 内の APX92470.bgl を無効にします。

次に 846ft を 10ft に変更し、もう 1 つの空港データと共に別名 bgl でデータを FSX に戻します。

これで正しい標高に設定され、もう 1 つの空港もそのまま利用できるのです。

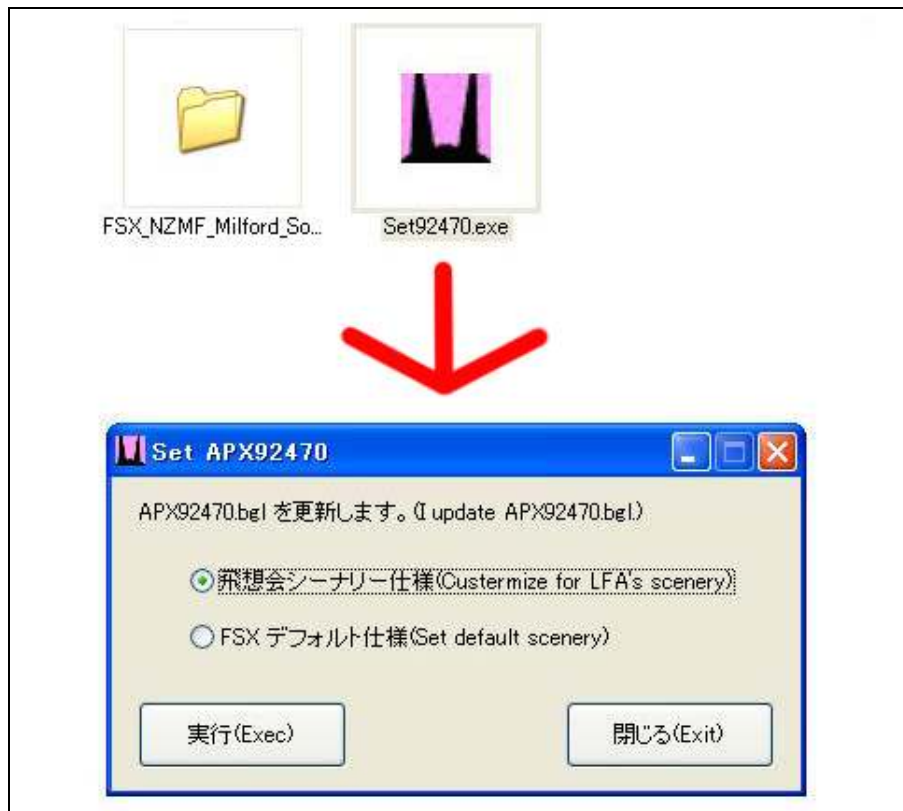
飛想会制作の FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 を削除し、FSX をデフォルトの状態に戻す場合があるかもしれません。

その場合もう 1 つの場所を指定しクリックすると、別名 bgl を自動で削除し、書き換え変更以前のデータで APX92470.bgl を生成します。

書き換え以前のデータとは、皆さんがこのソフトを実行する前に、例えば \*\*\*\*\* というデータを自己責任で記載していたとしても、その状態で生成し復元するのです。

これがこのソフトの優れた特徴と概要です。

## Set92470.exe 実行



- ① 圧縮ファイルから Set92470.exe をコピーし、あなたが常にご利用できる場所に貼り付けます。
- ② ダブルクリックすると写真のような Set APX92470 が現れます。
- ③ 『 飛想会シーナリー仕様 (Custermize for LFA' s scenery) 』にチェックが入っていることを確認します。
- ③ 『 実行(Exec) 』をクリックします。  
**クリックしても画面等は何の変化もありません** が、これで変更されます。
- ④ 『 閉じる(Exit) 』をクリックして完了です。

## ご 注 意

- FSX デフォルトの APX92470.bgl を書き換えますので、ご心配な方は Set APX92470 実行前にオリジナルをコピーし、あなたが常にご利用できる場所に貼り付け保存してください。  
Scenery¥1105¥Scenery にあります。
- このソフトの著作権は「くろねこ」さんにあります。

## FSX Scenery - New Zealand Terrain Mesh

### nzfsx.zip について

「くろねこ」さん制作のソフト Set92470.exe を実行すると、FSX デフォルトの間違った空港情報が変更されて正しくなります。

水面（川・池）の間違った高度情報は、FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 シーナリーに含まれているシェープファイルで変更されて正しくなります。

しかし FSX デフォルトのメッシュはそのまま、問題がまだ残ります。

そのために FlightSim.Com からダウンロードする nzfsx.zip が必要になるのです。

これをインストールすると自然な景観になり、飛想会制作のミルフォードサウンド・シーナリーを楽しく利用することが可能になるのです。

勿論、この無料利用できるメッシュ以外にも作品があるかもしれません。

飛想会は、日本国内で購入可能な『FS GLOBAL 2008 日本語』はテスト確認しましたが、その他の作品はテストしていませんのでご了承ください。

### 『FS GLOBAL 2008 日本語』について

『FS GLOBAL 2008 日本語』のニュージーランド、ミルフォードサウンド空港周辺の風景に違和感があります。

原因は不明です。

飛想会制作のシーナリー FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 をご利用になる場合、残念ながら

『FS GLOBAL 2008 日本語』の利用を中止し、飛想会が推奨する上記メッシュをご利用されたほうが良いかもしれません。

つまり無効に設定して非表示にし、nzfsx.zip のメッシュを利用するのです。

詳しくは制作後記をご覧ください。

『FS GLOBAL 2008 日本語』のニュージーランド地域関係を無効にして非表示にする方法等は、ソフトに含まれている解説書を参照されるか、直接メーカーにお問い合わせください。

## FSX Scenery - New Zealand Terrain Mesh

### インストール

圧縮ファイルを解凍すると nz-fsx-mesh がありますので、これを FSX の Addon Scenery 内にコピーして貼り付けます。

後は通常の方法（FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 と同様）で登録します。

登録後、FSX\_NZMF\_Milford\_Sound\_V100 よりも下位のレイヤーに移動してください。

もし他のニュージーランド関係のシーナリーを追加登録している場合、それらすべてのシーナリーの最下位レイヤーに移動してください。

これでインストール完了です。

飛想会は登録名称が nz-fsx-mesh では抽象的すぎる考え、勝手に名称を変更して登録しています。

変更した名称は FSX\_NewZealand\_Terrain\_Mesh です。

FSX を利用する上で、皆さまも簡単容易に理解できる名称に変更すると便利かもしれませんよ。作者には勝手に変更して申し訳ありませんけどね。



# Milford Sound Airport 制作後記

## そ の 1

制作を開始するかどうかを判断する基準の1つに、FSXで同じ空港のシーナリーが公開されているかどうかを調べます。

無料公開されている作品だけではなく、販売されている作品も含まれます。

Milford Sound Airportについて、FS2004用はFlightSim.Comで公開されていました。FSX用はVATNZ - VATSIM New Zealandで、Flight Club - 30<sup>th</sup> April - Milford Sound to Invercargillでその模様と共にシーナリーが公開されています。しかしうまくダウンロードできないファイルもあり、基準を満たしてないと判断しました。



<http://www.vatnz.net/forum/viewtopic.php?f=11&t=1499&view=next>

VATNZ - VATSIM New Zealand からコピーしました

この解説書作成中、偶然にNew Zealand Flightsim Forumsで2010年9月2日、MilfordSoundXのVersion3がリリースされた記事を見つけました。

Version2の記事もあるということは、やはり以前から制作していたのですね。

しかし今回も、何故かファイルがダウンロードできません。

またフォーラムには、インターネットで公開されている実際の写真と異なるイメージのタワー写真が掲載されています。  
(これは飛想会の個人的感想です。)



<http://nzff.org/forum/index.php?showtopic=12730&pid=8266058&mode=threaded&start=0#entry8266058>

New Zealand Flightsim Forums からコピーしました

作風は人それぞれですね。

タワー屋根に設置されているエアコン室外機、フェンス近くのゴミ箱、制作しませんでした。  
特に室外機に関しては、何処から冷媒配管をタワー内に引き込むか不明でしたので。

もしシーナリーがダウンロードできたら、皆さまはお好きな作品をご利用ください。

## そ の 2

ミルフォートサウンド空港、制作のきっかけはとても単純でしたが、実は制作はとても難しくて途中で挫折、制作継続を断念したこともあります。

この写真がFSX デフォルトの風景で、ミルフォートサウンド空港は断崖絶壁の上にあります。FS2004 では正解に近い標高でデフォルト・シーナリーを制作しているようです。

しかしFSX では誤って公開された情報を採用し、その標高を基準に制作したからだと推測しています。

この間違いこそが諸悪の根源です。



FSX デフォルトの風景

シーナリー制作の第一歩はAFX (Airport Facilitator X) ソフトで新しく空港を設定します。デフォルトの標高 246ft を新しい 10ft に設定し、名前をつけて保存します。

このとき初めて、英語で警告コメント『 標高を変更しますか？ 』という内容の問い合わせが表示されますので OK をクリックします。

次に「くろねこ」さんのFSX ソフト『 空港用地取得キット 』を使用して、標高 10ft の空港用地を定義してシェープファイルを制作します。

誤った高度情報を持つすべての水域とデフォルトの空港定義範囲も削除します。

そしてメッシュを登録し、これで基本制作が終了です。

文章で書くと簡単ですが、実はこれだけでも大変な作業です。



制作パソコンのFSXを起動しミルフォートサウンド空港に行くと、イメージ通りの風景になっています。

ところが、テストパソコンのFSXに登録しミルフォートサウンド空港に行くと・・・。  
ご覧の通りの風景です。



テストパソコンの風景 制作途中

空港定義範囲は正しく標高 10ft に設定されています。  
ところが滑走路とエプロンは、標高 10ft に設定したにもかかわらず 246ft の位置に出現しています。

制作パソコンでは問題なかったのに、テストパソコンでは何故このようになるのでしょうか。  
それは、AFX の『 標高を変更しますか？ 』の問い合わせは AFD 制作のためではなく、FSX の内部データ変更のためだったからでしょう。  
つまり新たに制作した AFD だけでは、間違って設定されているデフォルトの APX92470.bgl データ 246ft を書き換えることが出来ず、別データとして FSX のどこかに変更設定を書き込み保存しているからだと思います。  
このままでは制作を続行し作品として公開することが出来ません。  
困りました。

切羽詰って、今までの経緯と資料をお送りして「くろねこ」さんに相談しました。

そこで登場した解決策が、インストールでも説明した **Set APX92470** です。

これは飛想会制作のミルフォードサウンド・シーナリー専用ソフトで、安全確実、そして簡単に間違った標高 246gt を 10ft に変更してくれます。

インストールがあるならばアンインストールもあるように、標高 10ft から 246ft に戻すことも出来ます。

テストパソコンで Set APX92470 を実行すると、やっとイメージ通りの風景になりました。



Set APX92470 実行後のテストパソコンの風景 制作途中

皆さん、何故この解説書で説明するインストール方法を確実に実施すべきか、その理由がお分かりになりましたか。

「くろねこ」さんのおかげで問題解決です。

**皆さん**

**インストールはこの解説書を熟読され確実に行ってください。**



### そ の 3

FSX デフォルトのおかしな標高と共に、この地域の制作精度は非常に雑で問題が多数見つかります。

その一例がフィヨルドからタスマン海に出る付近にある**暗礁の出現**で、船が座礁します。



前方に危険な暗礁が見えます



乗り上げると座礁して動けません



上空から見るとこのようになっています

これは FSX 管理領域の関係か制作方法のあいまいさで、水域の接合座標が一致してないために発生する隙間でしょう。

つまり、この水域の下部レイヤーは陸地テクスチャーになっているからです。

FSX は飛行機のゲーム、恐らくミルフォードサウンド制作担当者は船のことなど一切考えず、上空から見ても気がつかず、このような隙間が出現しても問題なしと考えたからでしょうけど、でも本音は手抜きですよ。

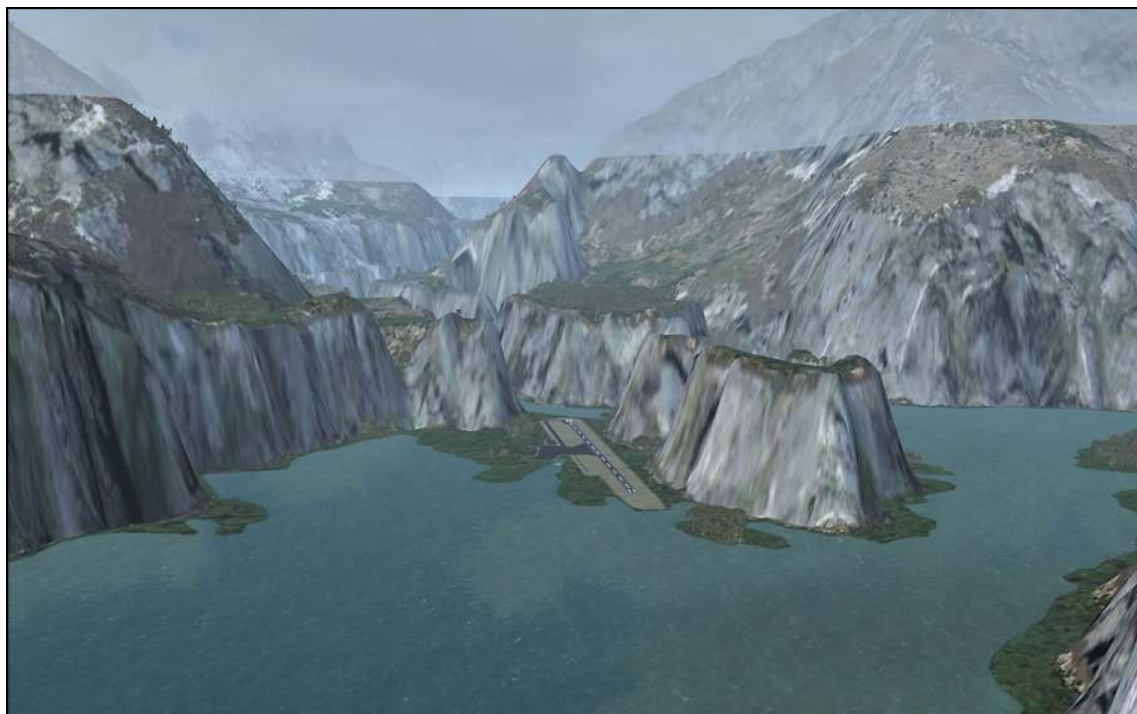
今回のシーナリー制作では、南北約 29km、東西約 18km の範囲にある問題箇所を見つけて削除訂正しました。

しかしまだこの範囲に、そして周辺に見つけてない問題が多数残されているかもしれません。これらは本来、マイクロソフト社の責任で訂正すべきだと思います。

もし不自然な FSX デフォルト風景に遭遇しても、飛想会シーナリーに起因する問題ではありません。

## そ の 4

「くろねこ」さん制作ソフト Set APX92470 を実行しても、『FS GLOBAL 2008 日本語』の風景は以下ようになります。



fsmaniacs さん撮影 制作途中

特に飛行場近くの風景がおかしいですね。

だから飛想会のミルフォードサウンド・シーナリーを利用する場合、『FS GLOBAL 2008 日本語』のニュージーランドが含まれる地域を無効にし、非表示にする必要があるのです。

しかしそれだけの処置では、もっと大変な風景になってしまいます。

『FS GLOBAL 2008 日本語』のインストールで、FSX デフォルト・データを書き換えているので、非表示にしても元に戻らないからでしょう。

あまりにも酷いので、その写真は掲載しません。

これを解消させるのが、インストールでも説明した [FSX Scenery - New Zealand Terrain Mesh nzfsx.zip](#) です。

信頼できるメッシュのインストールがとても大事になるのです。

もし『FS GLOBAL 2008 日本語』を利用したままニュージーランドのフライトを楽しみたい皆さまは、飛想会が制作したシーナリーに起因する異様な風景でないことを、強く強く認識してくださいね。



## そ の 5

この解説書、そして動画の撮影では、無料公開されているニュージーランドのランドクラスを利用しています。

Sim Pilot Experience      <http://www.simpilotexperience.com/>  
Free Downloads → New Zealand Landclass Scenery → nzlc.zip

これは FS2002、FS2004、そして FSX で利用可能な無料ソフトです。  
ご興味のある皆さまはご利用ください。

FlightSim.Com と AVSIM では nzlcfsx.zip という名称で公開されています。  
同じ作品かどうかは不明です。  
しかし何故か私の FSX 環境では nzlcfsx.zip のランドクラスは利用できません。  
不思議なことに風景に何の変化もおきず、FSX デフォルトのままみたいなのです。  
もしご利用されたら、皆さまのところではいかがでしょうか？

### Sim Pilot Experience New Zealand Landclass Scenery      登録方法

これは飛想会の登録方法で参考例です。

- ① 新しく New\_Zealand\_Landclass\_SimP という名称のフォルダを制作します。
- ② その中に scenery フォルダを制作します。
- ③ nzlc.zip を解凍して中にあるすべての bgl をコピーし、制作した scenery 内に貼り付けます。
- ④ 通常の方法で FSX に登録します。

nzlc.zip に添付されている解説も必ずお読みください。

2010年8月21日、simfligjht JAPAN に衝撃的なニュースが掲載されました。

### フリーウェア ニュージーランド ランドクラス/テクスチャ

8月21, 2010, 14:25 GMT

カテゴリー : Freeware from the World, Scenery by jiji

タグ: FSX, New Zealand, World Landclass Textures INC

★★★★★ (No Ratings Yet)

**World Landclass Textures INC**は新しくウェブサイトを開きました。その開設記念に**"New Zealand Landclass and Textures"**をフリーウェアとしてリリースしました。FSX用として最良のリアルさを1mの解像度で作られたハンドクラフトテクスチャで表現します。ランドクラスとAutogenをも含みます。詳細とダウンロードは新しい**ウェブサイト**で。



simfligjht JAPAN からコピーしました

FlightSim.Com でも同じ作品が公開されましたが、無料会員ではダウンロードにもものすごく時間がかかります。

説明してあるウェブサイトからだと、4つの圧縮ファイルの合計約 383MB を飛想会の環境では1時間程度でダウンロードできます。

これだけの作品を制作し無料公開するなんて、素晴らしい！

ところが・・・・。

あっという間にインターネット上で公開した会社が所在不明になり、MEGAUPLOAD にあったデータもなくなってしまいました。

**まるで 夜逃げ 同然！**

それとも、さらに規模拡大し FSX シーナリーを制作・公開するために実施した発展過程の出来事なののでしょうか？

ブログ『 亀山藩飛行仮想現実空間 』には、FSX SP2 DX10 での利用は出来ないと解釈できるコメントが掲載されています。

今頃公開する作品で DX10 非対応なんて、もしかして、これは欠陥作品？

それとも、マイクロソフト社の承諾なしに勝手に FSX デフォルト・データをベースに制作したので問題発生！？

これは飛想会の個人的な妄想です。

真相は不明ですが、今となっては幻のランドクラスですね。



## その 6

ミルフォードサウンド空港には、4つの航空会社が入っています。

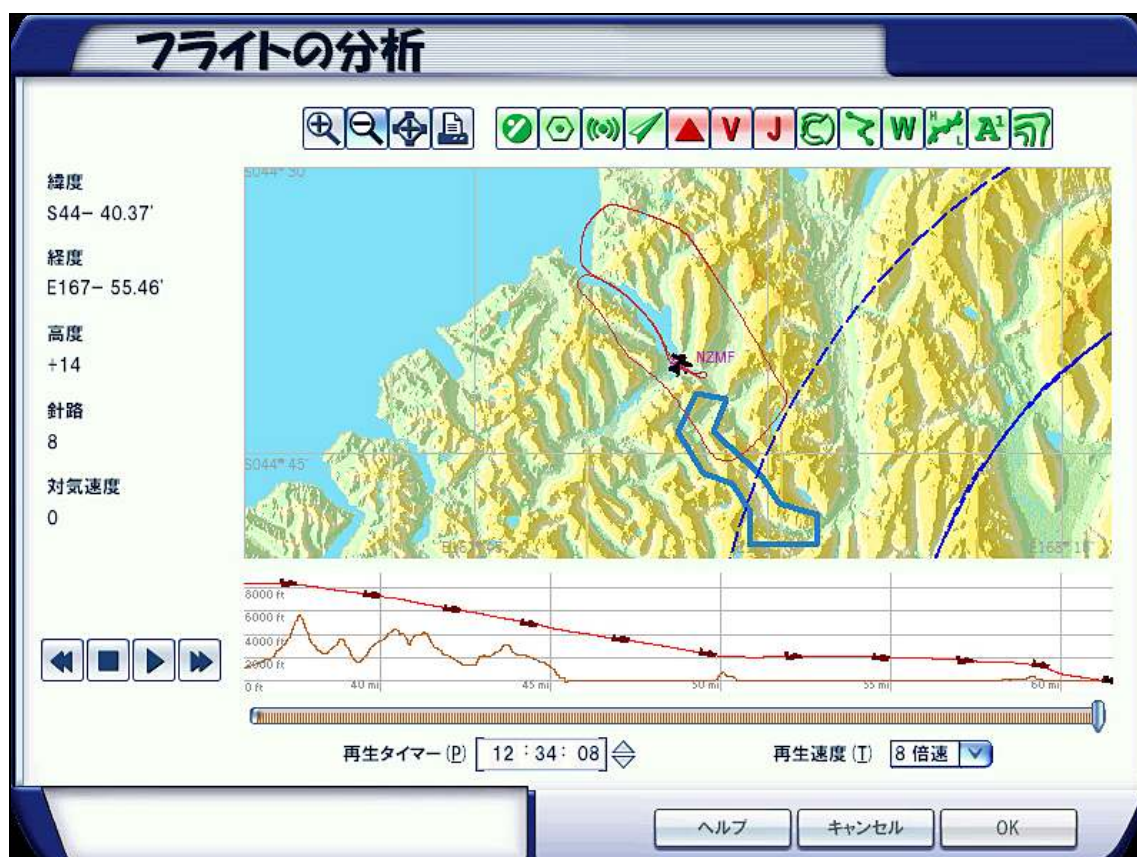
Aspiring Air	Wanaka	～	Milford Sound
Glenorchy Air	Queenstown	～	Milford Sound
Milfordnd Helicopters			Milford Sound
Milford Sound Flightseeing	Queenstown	～	Milford Sound

Milford Sound Flightseeing の BN-2 Islander によるフライトプランは以下のようになっています。



HP からコピーして書き加えました

動画撮影では、写真のようなコースをフライトしました。



R/W 29 から離陸しフィヨルド内で上昇、タスマン海で左 180° 旋回して水平飛行に移ります。  
ここからが本格的な観光フライトですね。

ミルフォードサウンド飛行場南側を通過して左 90° 旋回します。

しばらくしてまた左 90° 旋回しタスマン海に向かいます。

海近くにきて高度を次第に落として左 180° 旋回し、フィヨルド内で高度を落としながら空港  
に向かいます。

空港通過後山間の狭い空域で左 180° 旋回して R/W 29 に着陸します。

ミルフォードサウンド空港を中心に、大きく場周経路をフライトしたようなコースです。

FLIGHT1 の BN-2 Islander で所要時間は約 37 分、皆さまも愛機を操縦してぜひお楽しみくだ  
さい。

## そ の 7



遊覧船乗り場近くにボーウェン・フォールズがあります。  
実はこの滝、難しくて制作する予定がなかったのです。

当初は地球温暖化の影響のため、水が干上がったイメージで滝の跡のみ制作しました。  
苦肉の策ですが物足りず、どのように制作するのかずっと悩んでいたのです。

そこでこの滝、最後の最後に挑戦して完成させたのです。  
DX10 にも対応させるため苦労しました。  
滝の近くで船や水上飛行機のエンジンをカットすると、滝の音も聞こえます。

みなさん、この仕掛け、滝のように見えますか？

この滝は FPS にも多少影響します。  
FPS が厳しい場合、また、滝とは認められず邪魔と感じる皆さまは、scenery の中にある  
FSX\_NZMF\_WaterFall-01.bgl を削除してください。

この滝はすべてのシーナリーテストが終了した後の公開直前に制作し、無理やり勝手にお願い  
した FSManiacs さんのテスト報告と助言で完成させたものです。



## おわりに



Milford Sound Airport V1.00 いかがでしょうか。

このシーナリー、知人の策略に乗せられて制作したかもしれませんね。  
でもフライトして、こんなに楽しく遊べる空港はなかなか見当たりませんので満足しています。  
皆さんはいかがでしょう。

シーナリー制作で「[くろねこ](#)」さんのF S X用制作ソフトを利用させていただき、[Set APX92470](#)  
も開発していただきました。

オブジェクトで [Hovercontrol](#) 公開の Gmax ヘリコプター・ソースを利用しました。

シーナリーテストで「[くろねこ](#)」さん、[FSManiacs](#) さん、[にへら♪](#)さんと[\(有\)ニヘラ航空パイロットの皆さま](#)のご協力、そして貴重な助言をいただきました。

この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

これからも皆さまと一緒に楽しく遊べるシーナリーを制作し、L F A 飛想会のホームページで公開したいと考えています。

2010. 9. 17  
L F A 飛想会 TONO